

2006 年度

科目名 教育実習指導（公民）	対象学科・学年 文学部コミ4回生	担当者 安田 正純
授業テーマ 「教育実習」の意義と位置づけ。		
授業の概要と目標 教育実習により、自ら教育者を目指す資質と能力を高めること。そのため教育実習の事前・事後の反省を含め、教育実習の意義と方法・内容について指導する。		
評価方法 受講出席率・教育実習日誌・指導記録・実習終了の報告書等により総合評価する。		
テキスト 担当教員が資料配布する。	著者	出版社
参考書 教職論 教育を志すすべてのひとへ	著者 宮崎和夫編著	出版社 ミネルヴァ書房
授業スケジュール・内容 1・教育実習の意義について。 2・現場での教育活動について。 3・公民科では、現代社会の課題と人間としてのあり方・生き方について考える力を養うことができるような内容を重点的に指導する。 4・学習指導（公民の指導要領について）の指導。 5．実習後の報告と反省（実習生として十分実習成果を修められたか否か）。 ＊ 上記5回の内、実習前4回・実習後1回の割合でスケジュールを消化する。授業実施日については、教務課から連絡する。		